



**N**\* Novosibirsk  
State  
University  
\*THE REAL SCIENCE

**Voytishek Elena, Mitsumori Yu**  
**Department of the Oriental Studies**

**Novosibirsk State University (NSU) and partner  
universities in Japan:  
experience of interaction in a pandemic**



**June-July 2020 - a summer online-school in Japanese** (NSU, Waseda Univ. 早稲田大学 + Universities of Uzbekistan, Mexico, Brazil): Universities introductions, discussions about student clubs, festivals, of their cities, representations the cultural traditions and social networks in Japan and Russia. There were 17 Russian students, 30 Japanese, and 12-15 other students.



**October 2020 - “Asian studies” online-conference** with a representatives of Tohoku University.

**February 2021 - an annual online-conference “Asian Studies“** between Japanese and Russian undergraduates and young scientists of NSU and Tohoku University.



- ▶ **October-November 2020** – online-classes between NSU students and Shinshu University 信州大学 (Matsumoto, Nagano).
- ▶ The topic of the classes is the traditional culture and art of Japan: gagaku music, Noh theater.
- ▶ **February-March 2021** – the second stage of general classes related to the presentation of the procedural arts - tea, incense, flower arrangement is planned. Russian students - 12 people, Japanese - 25 people.
- ▶ It is also planned to give some lectures by NSU professors for students of Shinshu University

IN PANDEMIC SITUATION CLOSE COLLABORATION WITH  
HOKKAIDO UNIVERSITY, WASEDA UNIVERSITY, SHINSHU UNIVERSITY,  
TOHOKU UNIVERSITY

予定 SHINSHU University@

① 10/23

荻須真尚(おぎす しんしょう)様 「雅楽について」

② 10/30

高多祥司(たかた しょうじ)様  
「@NOVOSIBIRSK  
海外演奏会を企画・運営する」

③ 11/6 GROUP WORK

④ 11/13 GROUP PRESENTATION



# 11/13 発表会 SHINSHU University@

## (1) 発表時間

1グループあたり5分~10分(両大学の学生による発表)

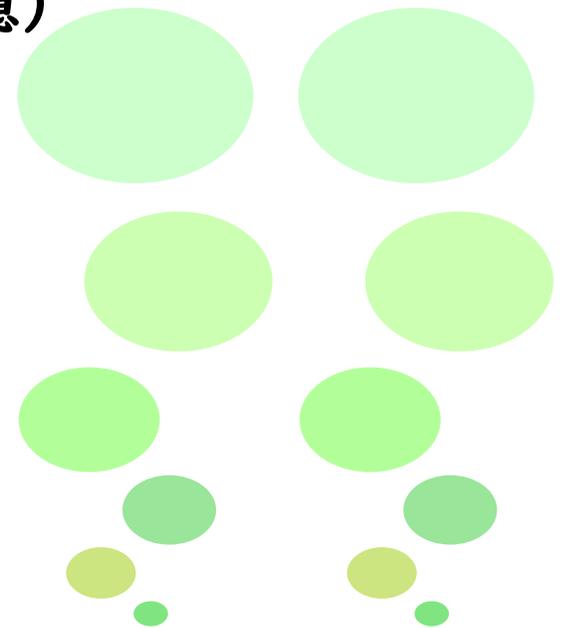
## (2) 評価ポイント

①Attention(注目)・Interest(興味)・Memory(記憶)

②Desire(欲しい)・Action(購買行動)

③Situation・Condition(日時・場所・チケット価格)

## (3) どのグループが一番素晴らしかったか?



# 早稲田大学大学院との共同授業

- 早稲田大学大学院日本語教育研究科の福島青史教授からお話をいただく（福島先生はノボシビルスク国立大学初代日本語教育専門家）
- 日本語教育実践研究(16)「海外の日本語教育」
- 早稲田大学大学院生×ノボシビルスク国立大学3年生（現4年生）
- 主に6月、7月に各4回の交流（大学院生主導）
- 各月別々のグループ（双方2つの別のグループ）
- 内容はロシア文化などの発表形式がメイン



# 信州大学との共同授業

- 信州大学グローバル化推進センター永田浩一准教授、仙石祐助教
- 「グローバル人材論」
- 信州大学学部生×ノボシビルスク国立大学3年生
- 雅楽、香道、能楽、華道、茶道、着付け等の日本文化を取り上げる
- 日露混合6グループで協働

- ① 事前課題サイト読み込み（独立行政法人日本芸術文化デジタルライブラリー）
- ② 荻須真尚氏（松本富貴雅楽会）雅楽に関する講義
- ③ 高多样司氏（東京楽所）講義（オンデマンド）
- ④ 日露学生間グループワーク
- ⑤ 各グループ成果物（ノボシビルスクで雅楽コンサートを行う設定でリーフレット作成）発表会

※ 教員・代表者で順位投票



# オンライン授業の利点 (日本語教育の観点から)

## ◆ さながらオンラインで留学しているかのような効果

- ・ それぞれ10名程度の小グループで交流しやすかった
- ・ Zoomやwhat's appを使った動機・非同期による交流
- ・ 早稲田大学には発表形式、信州大学とは課題を協働作業  
⇒ 実際に「日本語を使う」環境

## ◆ 学生の声（信州大学と交流した現3年生）

- ・ 日本文化を知ることができた
- ・ 聴解力や発話能力があがった  
⇒ 実際のコミュニケーション能力向上
- ・ 日本人学生に語彙などを教えてもらえた
- ※ うまくできなかった、という実感を持った学生も

➤ 日本側学生にとっても日露の生活慣習等の違いに「気づき」がもたらされる効果





We hope to  
return to  
personal  
meetings  
soon!

THANK YOU FOR YOUR ATTENTION!